

第1回 西宮市学校給食審議会 会議録

日 時	令和3年11月16日(火) 午前10時00分～午後11時30分	会 場	西宮市役所 江上庁舎 3階会議室
出 席 委 員	◎浦上 拓也 ○高橋 享子 牛尾 重信 岡 敏行 岩本 佳菜子 松本 祐子 (◎は会長、○は副会長)	事務局 職 員	藤井 和重 教育次長 八橋 徹 教育委員会参与 柏木 弘至 学校給食課長 辻 泰成 学校給食課係長 宮西 邦典 学校給食課係長 升田 洋輔 学校給食課係長
欠 席 委 員	なし	事務局	なし
議 題	1. 開 会 2. 議 題 3. その他連絡事項 4. 閉 会		
署名委員	浦上会長	牛尾委員	松本委員

事務局	<p>ただいまより、令和3年度の第1回西宮市学校給食審議会を開会いたします。本日はご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。それでは、浦上会長、議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>皆さま、おはようございます。それでは、本日の議事を進めてまいります。本日は午前11時30分を終了予定としまして、進めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>まず、議事録署名者を決めさせていただきます。本日の署名者は、牛尾委員と松本委員にお願いしたいと思います。お二人ともよろしいでしょうか。よろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、傍聴について、事務局からお願いします。</p>
会長	<p>本日の傍聴希望者はございません。</p>
事務局	<p>それでは、議題（1）委員の紹介について事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>この度、8月4日付で委員の交代がございましたので、御紹介させていただきます。</p>
事務局	<p>西宮市PTA協議会副会長の松本 祐子様です。</p>
会長	<p>【委員自己紹介】</p>
事務局	<p>ありがとうございます。続いて、事務局職員の自己紹介をお願いいたします。</p>
事務局	<p>令和3年度の組織改正に伴い学校教育部から教育総括室に学校給食課が移管されております。</p>
事務局	<p>改めてお手元の事務局名簿順に自己紹介をさせていただきます。</p>
事務局	<p>【事務局自己紹介】</p>
会長	<p>それでは、議事を進めてまいります。議事次第に従いまして、議題（2）報告事項ア「令和2年度決算について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、「令和2年度決算」についてご説明いたします。</p>
事務局	<p>資料2をご覧ください。3ページに渡って記載しております。</p>
事務局	<p>上から一般会計歳出予算（市の全体の予算）と教育委員会所管分の歳出予算、それから給食費としまして調理員の人件費と、あと予算事業で3つの事業の決算額を上げさせていただいております。</p>
事務局	<p>説明につきましては、細かい説明は省略させていただきまして、大幅な増減があったところについて御説明を申し上げたいと思っております。</p>
事務局	<p>まず、調理員の人件費でございます。対31年度で約535万円の増となっております。正規職員は1名減、嘱託調理員の増減はございませんが、月額報酬の増により約1,679万円増となっております。代替調理員については、新型コロナウイルス感染症による出勤回数の減により約672万円減となっており、差引約535万円の増となりました。</p>
事務局	<p>次に予算事業、給食管理運営事業でございます。これは、給食管理の全般にわたる事業になります。給食管理運営事業には、歳入の特定財源がございまして、給食室で不要になった揚げ油を廃油業者に買い取っていただいている「学校給食廃油売払収入」と、「学校給食費基金運用利子」の収入が約152万円ございます。また、学校給食費基金繰入金については、令和2年度の給食費収支が約5,264万円の赤字となったことから、給食物資購入事</p>

業経費に充当するため、基金を取り崩し、繰り入れたものです。

次に歳出にうつります。01 報酬、03 職員手当等、04 共済費、08 旅費の増減が大きいです。これは地方公務員法および地方自治法の改正に伴い、嘱託職員の雇用について会計年度任用職員制度を導入した関係で予算科目が変更になったものです。

次に、2 ページ目をご覧ください。

10 の 02 消耗品が対 31 年度で 63 万 2,448 円増となっております。

主な理由といたしまして、各学校で使用している食器の購入費用ですが、年によって交換対象の学校数に違いがあるため、その年度によって増減がございます。

12 の 02 郵便料が対 31 年度で 292 万 5,040 円の減となっております。これは給食費の収納月を 8 月から 7 月に変更し、納入額決定通知書を 1 学期中に学校で手渡しすることにより、夏季休業期間の郵送を廃止したためです。

19 負担金補助及び交付金については対 31 年度で 1,274 万 1,988 円の増となっております。これは、国から交付された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増によるものです。学校給食用米飯・パン業者に対し加工費の一部を補助するなど、事業者の支援に活用しております。

25 積立金につきましては、対 31 年度で 5,202 万 9,803 円の減となっております。給食費の前年度収支が黒字となった場合は 12 月補正予算後に給食費基金への積立を行っておりますが、30 年度の収支差額約 5,938 万円に比べ、31 年度の収支差額が約 733 万円に減少したためです。

給食管理運営事業につきましては、以上でございます。

続きまして、単位事業の給食物資購入事業です。3 ページ目をご覧ください。

これは保護者の皆様からいただきました給食費で給食食材を購入する事業でございます。特定財源である歳入の全体が、15 億 6028 万 7105 円となっております。それに対しまして、歳出が合計 16 億 3902 万 4606 円となっており、約 7874 万円の赤字決算となりました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により臨時休業となったことが原因の支出については、国の交付金より約 298 万円、一般会計から約 1444 万円を補填しており、差し引き約 6131 万円赤字となっております。

この赤字決算につきましては、後ほど説明いたします過年度滞納繰越分の給食費収入を相殺した上で、出納整理期間中に基金を取り崩しております。

11 05 食糧費が対 31 年度で 1 億 70 万 1010 円の減となっている理由につきましては、4 ～ 6 月半ばまで新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休業したことによるものです。

給食物資購入事業については、以上でございます。

続きまして、給食施設設備整備事業です。これは、主に老朽化した給食室の工事や備品の更新及び児童急増に対する工事です。この増減につきましては年度により実施内容が異なるために、その年度によって増減がございます。

令和 2 年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、天井・空調整備工事を実施しなかったため、工事請負費が対 31 年度で約 4,170 万円の減となっております。

	<p>最後に、歳入につきましては、過年度給食費負担金収入といたしまして 867 万 2455 円を回収しております。先ほどの給食物資購入事業の赤字 6131 万 2987 円と相殺後の 5264 万 532 円を、学校給食費基金より取り崩しております。</p> <p>ここで説明員が交代いたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>学校給食課収納チームの宮西です。</p> <p>学校給食費の収入状況について、ご説明させていただきます。</p> <p>それでは、お手元の「資料 3」の一番うえ、「1. 学校給食費 収入状況」をご覧ください。表は、端数を切り捨てた記載となっております。表の一番下の「計」、「現年度分」の行をご覧ください。</p> <p>令和 2 年度の学校給食費は、全体で、15 億 6672 万 0000 円の調定額に対し、15 億 6028 万 7000 円の収入額があり、収入未済額は、643 万 3000 円、収納率は 99.5%でした。</p> <p>次に、平成 31 年度以前の滞納分です。</p> <p>今、ご覧いただきました「現年度分」のすぐ下に記載しております、「滞納繰越分」の行をご覧ください。</p> <p>令和 2 年度における滞納繰越額 3570 万 4000 円に対し、867 万 2000 円の収納となりました。平成 31 年度に引き続き、弁護士に滞納整理業務を委託する等し、昨年度の 868 万円とほぼ同額の収納となっております。</p> <p>しかしながら、平成 25 年から 31 年度分の令和 2 年度への滞納繰越額は、合計で 2703 万 2384 円となりました。</p> <p>滞納整理につきましては、督促状の納付期限を過ぎた段階から、電話による啓発及び、納付指導に着手することで、滞納額増加の防止に努める他、児童手当の充当による支払について、電話や督促状、催告書への案内文の同封等より周知を行い、確実な未収金の回収に繋げるよう努めております。また、今年度より、本市財務総務課が全庁的な取りまとめを行い、弁護士に学校給食費以外の債権を含めた滞納解消相談等業務の委託契約を結ぶこととなりました。今後はこの業務委託により集まった情報を材料に、法的措置の実施の検討等が予定されております。</p> <p>続きまして、令和 2 年度西宮市学校給食費基金運用状況については、資料の「2. 学校給食費 基金運用状況」のとおりとなっております。令和 2 年度末時点で基金残高は 3 億 131 万 6875 円となりましたが、出納整理期間中に先ほどご説明いたしました令和 2 年度決算における赤字額 5264 万 0532 円を取り崩して、2 億 4867 万 6343 円となりました。</p> <p>以上で資料 3 の説明を終わります。</p> <p>それでは、ただいまの説明につきまして、何か御質問、御意見等ございますでしょうか。どなたでも構いませんので挙手のうえお願いいたします。</p> <p>資料 3 の滞納のところなんですけれど「過去に払ってください」と電話したことも教諭時代にあたりするんですけど、この割合というのは、過去の流れからいって、どんどん増えているのか、それとも減っているのか。または中々困難な状況であるという考えをされているのか。</p> <p>昨年度に関しましては、4 月・5 月に給食がなかった影響なのか、令和 2 年度の滞納額</p>
会長	
委員	
事務局	

	<p>としては例年より少し少なくなっておりまして、例年であれば1000万弱の滞納が現年度で発生してしまうんですけども、昨年度はそこまでいかずに、資料のところでも約643万という数字が出ていますけれども、新たに発生した滞納というのは少なくなっていました。理由のところは中々そこまで調べるのができないので、定かではないんですけども、現年度分の滞納は減少したと。それに対して、それまでの年度で繰り越していた滞納金額の回収については、2年度前と大体同額くらいの回収ができておりますので、相殺しますと昨年度は滞納分の解消の動きは少しできたのかなとは思っています。ただ、昨年度と2年度前とでは、ほぼほぼ同じ収納額なので、もう少しペースを上げて回収していかないと、いずれはどんどん滞納繰越額が増えていってしまう状況というところは危惧しております。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それとやはり、古くなればなるほど回収が難しくなっていくといったことがあります。回収率がどんどん落ちていくことになりますので、どうしていくかということを考えていかないと、残ったままでずっと積みあがっていきますので増えるしかないということになります。そういったことを解消していくためには、法的な措置を検討するなど、今後していかないといけないのではと考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>そうしますと昔からの流れでいうと、弁護士さんをお願いする前の段階から比べると、弁護士さんにやっていただいて回収できてきたというところがあって、ここ数年一定くらいのもので、今回は更に業務委託をされて改善の見込みがあるという。それは令和3年度・4年度の決算を見れば、その効果というのが見えてくるという理解ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今年度に関しては、先ほど少しご説明した中で財務総務課というところが全庁的に弁護士の委託を行うようになったということで、それは例えば育成センターの利用料であるとか、そういった他の債権と併せて弁護士をお願いをしているところなんですけれども、その状況に関しては、他の債権は新規で取り組みを始めたということになるんですけども、学校給食費としては昨年度まで学校給食費単独で弁護士の委託をしていたので、大きくその点だけでいうと変わることはないのかなと思っておりますので、令和3年度の決算をみた時に劇的に向上しているかということについては何も言えないです。ただ資料の説明の中でお話ししたとおり、今後法的措置を実施を検討していく段階になっていきますので、実際に法的措置をしていけばまたそこが向上していくという可能性はあるのかなと思うんですけども、令和3年度に関しては法的措置を実施するという状況ではございませんので、決算の時点で劇的に変わるかという正直そこまでではないのかもしれないです。</p>
<p>事務局</p>	<p>市全体でこういった対応が行われているという状況はありまして、取組としてはそれぞれの課が単独で動いていくのではなくて、同じルールに則ってやっていくのが効率的ですし効果もあるだろうということで、効果のあがっているやり方を、それぞれが採用して共通のやり方というものをまとめております。それに則りまして、来年度から我々の課が特に弱かった部分、現年度の滞納に対しての取り組めていなかった部分がありますが、それにつきましては、共通コールセンターという取り組みがありまして、そちらを活用することによって現年度の部分も更に力を入れていき、滞納を早い段階で声掛けをさせていただ</p>

<p>会長 委員</p>	<p>くことで、少しでも滞納の額を減らしていきたいと考えております。</p> <p>わかりました。では岩本委員お願いします。</p> <p>はい、すみません。保護者の代表として来させていただいています西宮市PTA協議会会長の岩本でございます。よろしくお願いします。</p> <p>滞納とも関わってくる話かと思いますが、給食費の無償化を望んでいる声もあるでしょうし、新聞などでもそういう話があると思います。全国で無償化している市町村がどれぐらいあるかというのは、私も勉強不足でわからないのですが、もしご存知だったら教えていただきたいのと、例えば他市で無償化ができていないのに西宮ではできないことに対してどういう風に分析されているのか、西宮市では無償化はできないのかという検討はされているのか、1人あたり1食あたりの金額を下げるなど、そういう取り組みについてのお考えはあるのかというのを聞きたいです。コロナ禍で一般市民の方の各家庭の収入が減っているわけですので、子ども1人に対する補助というか、何か手立てはないのかなと思うんですけれどもいかかでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>いただいたご意見については重々受け止めたいと思っております。基本的にこういった学校給食の物資等については、保護者の方からの負担というのが法律の中で求めている、となっているところは押さえさせていただきたいところではあります。それと、どこの市が無償化というところは手元に持ち合わせておりませんので、お答えはできないのですが、実際に無償化するとすると、こちらで挙げさせていただいておりますように給食物資の歳出で出しております金額をそのまま市で負担しないといけない、ということになりますので、毎年16億・17億を市の方で負担する金額がかなり大きい規模になります。こういったものが負担できるような財政状況ではないというところが大きいと思います。実際にされているところについては、財政規模としても小さい市町村ではないかと考えておりますので、本市のような大きい都市部の給食費を一つの市で負担することについては中々難しいのではないかと考えております。</p>
<p>副会長</p>	<p>学校給食というのは子どもの成長・健康・安心安全という大きな健康と栄養の3分の1、1日の半分以上が学校給食に依存していますので、子どもが美味しくなくて残す給食ではだめだと思うんです。生きた教材って文科省も言っていますので。そうするとやはり食材や調味料など一定の基準の物を使わないと美味しくならないと。旬のものだとか、勉強のための食材もありますので。西宮市では1食300円以内で賄ってらっしゃると思うんですけれども、全国の給食で美味しく子どもたちが全く残さずに満足しているところの給食費を聞きますと300円を超えているんですね。ですから美味しく子どもたちも喜んでお昼を食べて、勉強に意欲をもって学習していくというのは原則かなと私は思っていますので、無償化にしてほとんど残したり、心配な食材ではやはり問題はあるのかなと思います。そのあたりをよく保護者の方とご相談になって給食費など考えられたらいいかなと思うんですけれども。いかかでしょうか。私の見解としてはそういう想いがあります。</p> <p>もう一つ別件で質問させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>工事費の設備事業なんですけれども、コロナの関係で昨年度は工事をなさらなかったと。この経費は残ってるんでしょうか。次年度、またはコロナが落ち着いた時に施設をその分</p>

事務局	<p>加算して工事していくという方向で検討されているのでしょうか。</p> <p>空調設備、給食室の環境整備というところでの工事ができなかったわけですが、これにつきましては繰越という形で今年度にスライドさせて実施しております。国の方からの補助金があった関係もありまして、繰越しても補助金がいただけるということでしたので、繰越しをさせていただいて、今年度4校させていただいたところです。学校現場の方では夏場等に授業を行う際、窓を開けてというところで、工事の音がかなり響いて授業に差し障りがあるということでしたので、工事を差し控えて断念したという経緯がありましたが、それ以外に備品の入替はさせていただいております、老朽化して給食の実施に支障があるところについては、最小限とすることができたと考えております。</p>
副会長	<p>西宮市は自校式でかなり古くから給食されていますので、施設なども老朽化している部分もあるかと思えます。安全安心が一番だと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。</p>
委員	<p>給食施設設備事業のところですが、平成31年度の決算額が6,100万で令和2年度が約1,900万。差引が4,100万の部分が次の予算にはのっていないのでしょうか。</p>
事務局	<p>これが次の予算にのるのですが、経年で毎年空調整備の方は予定しているのですが、2年度に予定した4校が3年度に予定していた4校に更に上乘せして8校の実施になったかといいますと、それはなっていないです。玉突きになった状況でして、設備業者が8校に対応できるような状況ではないということが、今回の上乘せが難しい原因であると考えています。</p>
委員	<p>確認だったんですが、そういうことですね。そうした時に、あと何校空調設備がついていない学校が残っていますか。</p>
事務局	<p>年4校ずつ行っただとしてもあと10年くらいはかかります。60校の内、5年程この計画が進んで約20校整備されました。改築校もあるのですが、中々進まないところではありますが、着実に進めていくしかないと考えております。それ以外にもできることを研究しているところではあります。今年度につきましては、微力ではありますが、工場や工事現場でよくみまます作業員の方が着けておられるファン付のベストを給食室に配置して、少しでも暑さ対策に寄与できるように環境整備を行っております。今後もいい製品がありましたら、給食設備の環境整備ということで空調設備がつくまでの間、何かできないかということを考えていきたいと思っております。</p>
委員	<p>色々やっただいただいているのはよく分かるのですが、暑さが異常なので。調理員は非常に頑張ってくれているので、非常にその辺が気になるなと思っております。また今後もそういった工夫をよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>学校の予算でスポットクーラーを買っていただいて、それを補足するような形で我々に何ができるだろうかということで、色々製品の開発状況など見ていきたいと思っております。</p>
会長	<p>私も1点、給食の無償化という話がありまして、私の専門は水道・下水道ですが、物資は家庭でご負担ということで、水道も独立財産で料金として負担いただくと法律で定まっております。一方無償化にしたらどうなるかということ、無駄遣いや要するに我々料金を</p>

事務局	<p>払っているからこそ水道に対して強くものを言えるんですけども、これがただになってしまうと無駄遣いはするし、行政の都合でサービスが悪くなっても文句が言えないと。ということになりますので、やっぱりそれは料金として負担することが、きちんと事業に関わる責任があるという意味では、すごく大事なことかなと思います。ただ、今回コロナに関わって海外では非常に貧困家庭が増えたことも問題とされてますし、水道でいうと収入が大きく減少したり、生活が困難になられた場合には、福祉の枠を拡充するなど、日本でも交付金でかなりサポートされている部分もあるかと思うんですけども、給食費の負担について、従来の福祉的な減額なのか減免なのか、そういった制度があったと思うんですけども、そういったものを拡充するような取り組みの検討というのはなされたんでしょうか。</p> <p>昨年度については国から交付金がありましたので、対応させていただいたのですが、今年度につきましてはそういったものがないということで、今の西宮市の財政状況からいいますと、そこまでの負担というのは中々厳しい状況です。特に昨年度については、基金を取り崩した状況もありますので、更に状況としては悪くなっているところもありまして、保護者の方のそういった声については、重々承知はしておりますが、そこまでの判断や検討する流れには至らなかったというところです。</p>
会長	<p>今後はいかがでしょうか。仮に今回コロナという大きなインパクトがあった訳ですけども、コロナではなくても例えば災害や大きな世の中の動きがあって、格差が拡大した時に、要するに給食費の滞納が発生するということは、一つはもちろん良心的でない方がおられるというのもあるかもしれませんが、事実非常に生活が困窮されている世帯も増えていると思いますので、そういったところへ行政として手を差し伸べる取り組みというのでも検討していただけたらいいのかなと思います。</p>
事務局	<p>今後の保護者の状況を見ていながら、他市の状況も注視させていただいて、そういった場面があれば適切に対応を検討していきたいと考えております。生活困窮されている方については生活保護や就学奨励金というものがありますので、そういった手当によって給食費については、直接家計の方から引き去ることなく対応しているところです。それに及ばないような微妙な方もおられると思いますので、そういったところへの世の中の声、あるいは他市の状況なども注視しながら、適切に考えていきたいと思っております。</p>
会長	<p>ぜひよろしく願いいたします。それでは、続きまして、議題(3)その他ア「令和2年度学校給食における食物アレルギーに係る誤食及び誤配件数について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>学校給食課管理運営チームの辻です。よろしく申し上げます。</p> <p>令和2年度の学校給食における食物アレルギーにかかる誤食及び誤配件数について説明させていただきます。資料4をご覧ください。令和2年度に発生いたしました誤食および誤配事故につきましては、小学校で7件、中学校で5件の計12件となっております。学年別で見ますと、小学校1年生が4件と最も多くなっています。</p> <p>全体12件のうち、9件が保護者から提出されたアレルギー献立チェック表では食べられないとなっていたにもかかわらず、喫食前のチェック表の確認漏れにより誤配膳されたも</p>

<p>会長 副会長 事務局</p>	<p>の、1件が他の児童のカレーを舐めたもの、1件が簡易給食の献立変更に伴い追加申込があった児童へチェック表の配布を失念したため誤配したもの、1件が児童が誤って給食室から持ち帰った除去食を、担任がリンゴ酢が抜かれた除去食と思いこみ喫食してしまったものとなっております。全体12件のうち、4件において症状が発現し、3件については症状発症から一定の経過観察後、1件については病院を受診後に症状は改善されています。</p> <p>誤配・誤食が起こった際は直接学校への訪問等をいたしまして、状況を詳しく聞き改善策を含めた指導を行っています。今後も誤食及び誤配防止に向けて、各種会議や研修等でのアレルギーマニュアルの運用の徹底を行ってまいります。</p> <p>誤食および誤配については以上です。</p> <p>それでは、ただ今の説明につきまして何かご質問ございますでしょうか。</p> <p>この12件というのは例年に比べると多い方でしょうか。</p> <p>令和2年度が12件ございまして、令和元年度が11件、平成30年度・平成29年度と遡っていきますと、それぞれ16件ずつとなっております、少しずつではありますが減っている状況となっております。参考ですが、令和3年度10月末現在では3件となっておりますので、今年度につきましても減っている状況であります。</p>
<p>副会長</p>	<p>ヒヤリハットといたしますか、徐々に経験値が増えてきて、回数を減らしていく方向にいらっているということで、それを継続していただくのが一番いいのかなとは思っています。よろしくをお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>その他ございますでしょうか。</p> <p>なかなかゼロにはしにくい取り組みだと思えますし、学年の分布を見ましても低学年と高学年、中学校に寄っているということは、先生方のご苦労と、中学校になりますと各個人の自己責任の部分もあるかと思えますが、とはいえ減少傾向にあるというのは非常に取組として努力されている結果だと思えますので、今後ともぜひ継続していただくように思います。ありがとうございました。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>アレルギーのヒヤリハットを抑えるために、栄養教諭の存在は大事なかなと思えますけれども、栄養教諭が配置されていない小中学校もあると思うのですが、令和3年度に栄養教諭がいなくなった学校がもしあれば教えていただきたいです。</p> <p>学校名はすぐ出てこないのですが、ひとり人数としては減っている状況です。国の配置基準というのがありまして、550人に1人、それ以下については4校に1人と配置の考え方により、西宮市も他都市と同様に児童数・生徒数が、減少傾向にはありますので、減っていく状況です。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>今後、少子化が進んだ時に、どんどん栄養教諭が配置されない学校が増えてもアレルギーの事故がないようにご苦労していただくしか仕方がないのかなと思いました。</p> <p>国も栄養教諭等の必要性については当然押さえていただいておりますし、我々としましても、各都市もそうですが、栄養教諭の役割については重視しているところです。今後、児童・生徒が少なくなれば当然配置が少なくなっていくしますので、そういったところをうめられるような、また、ひょっとしたら基準の見直しも必要になるのかもわからないです</p>

	<p>が、配置を進めていただきたいということでの意見は西宮市としても引き続き挙げていきたいと考えております。</p>
副会長	<p>550 人に 1 人や 4 校に 1 人というのは、初めて聞いたんですけれども。文科省のお仕事を手伝えることもあるんですけれども初めて聞きました。兵庫県ではないんですか？</p>
事務局	<p>国の基準です。先生の配置基準や養護教諭の配置基準など色々ありまして、それに則った形になります。生徒数が何人以上になると、養護教諭が 2 人配置になるなど。それに則った形での栄養教諭の配置になります。</p>
副会長	<p>確認してみます。ありがとうございます。</p>
委員	<p>小学校で低学年、気を遣うんですけれども、お盆の色を変えたり工夫をこらしているんですけれども、本校で 30 人程度います。この前、鳴尾小学校の校長先生と話をした時には 50 人近くいると。栄養教諭の負担も、チェックを一つずつ確認して、下に記録して、とされているのを見ると何とか効率化できないのかなという思いもあって。例えば下の書く欄に、もう少し記入欄のところに出てくるような、効率的にもう少し工夫できないのかなという思いはあります。よろしく願います。</p>
事務局	<p>システム等も当初導入されてから色々な不具合に対して改良を重ねてというところで、現在の状態になっていますので、さらに保護者の方あるいは現場の先生方の負担を少しでも減らせるような形で、引き続きシステムの改修については取り組んでいきたいと考えております。</p>
会長	<p>システムもお金がかかりますよね。タブレットを子どもたち皆持っているんですが、活用する方法とかないんでしょうか。中々難しいんでしょうか。</p>
事務局	<p>見ていただくのは保護者の方が大事かなと思います。保護者の方に見ていただいて、先生方にも何重のチェックをしていただいて、今の少しずつ減っているという状況になっていますので、チェックがあまり多すぎると誰かがやるだろうとなる恐れがありますが、今のチェック体制の方が、慣れてきていい形かなと思いますし、やはり子どものことを一番ご存知なのは保護者の方ですので、そこは押さえておきたいと思っております。</p>
副会長	<p>50 人も一つの学校で食物アレルギーの方がおられる所で、そこで数校の担当の栄養教諭というのは、あまりにも栄養教諭の方の負担が高くて、安全安心な給食を提供することが原則ですので、栄養教諭の使命感だけで、それを防いでいるというのも問題かなと思います。西宮市としては、できるだけ子どもの健康をお考えになってほしいと思います。願います。</p>
委員	<p>我々のところであれば栄養教諭がいないんですが、大体 30 人くらいをみています。1 ヶ月でいうと 4 枚くらいずっと見て、本当にアレルギーになったら大変なので、担任が電話をして回収して、と業務量として増えています。委員会の方も栄養教諭を増やしていただくよう言っているのでも、それを通していかないと大変だし、例えば先週本校であればアレルギーには出てこないんだけど、食べたら症状が出てというのもあって、そういう子が 1 人出てくると、親と連絡をとって、その子と 2 時間・3 時間ついていないといけない。そういったことを担任が行うことが大変なので、栄養教諭の話がでましたので、ぜひぜひこういった意見を参考にしてもらいたい。550 人という定数も知っています</p>

<p>会長</p>	<p>けれど、ずっと変わってないですからね。</p> <p>子ども一人当たりのアレルギーの割合が増えているのに、昔の基準というのはおかしな話というのと、国が基準を見直す要望を続けるしかないですね。ぜひご相談の度によろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>アレルギーでなくても何かを食べ続けることによって発症されることを最近知りまして、そういった子どもさんがいることを聞くと、常々色々な子供たちを見続けていかないといけない学校の負担というのは大変だなと感じております。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、つづいて、議題（3）その他イ「令和2年度異物混入発生状況」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、令和2年度の学校給食異物混入件数についてご説明いたします。資料5をごらんください。表1には食材に起因すると考えられる異物混入の件数を、表2には調理中などに混入したと考えられる事案の件数をお示ししています。</p> <p>食材に起因すると考えられるものにつきましては加工食品・デザートへの混入が19件となっています。そのうちポンカンを1個ずつ配食した際に、皮の中に虫の混入が分かったものが6件ありました。なおこの6件につきましては予備のポンカンを配食し、対応しております。</p> <p>次に調理中などに混入したと考えられるものについては、虫の混入が22件、ビニール片の混入が7件となっています。虫が混入した原因としましては、野菜に付着している虫を取り除けなかったことが考えられます。調理室では通常3回に分けて野菜を洗浄し、虫が多い場合は4回目の洗浄を行います。それでも除去しきれなかった虫があり混入したことなどによるものです。ビニール片の混入については、食材を開封する際、2度切りすることで誤ってビニールの切れ端が混入したことなどによるものです。</p> <p>次に異物混入があった場合の対応につきましては、担任から管理職、栄養教諭、給食室へ報告がなされ、当日中に当課に一報が入ることとなっています。報告を受けた際は、まず健康被害の有無と児童生徒の対応状況を確認しまして、調理中と考えられるものは調理員や栄養教諭などに対して徹底調査を指示します。また当課の栄養士が学校を訪問するなどして、異物混入防止対策マニュアルに沿って指導しています。</p> <p>食材起因と考えられる場合は、異物を当課へ送っていただき当課から食材業者に異物の特定や原因調査を指示しています。後日、食材業者から調査の結果及び改善策などを記載した報告を受けまして、再発することのないよう指導を行っています。</p> <p>児童・生徒と保護者への対応につきましては、まず学校が児童生徒に謝罪と原因の説明をし、状況によりましては電話や家庭訪問により保護者へ謝罪、原因などの説明を行っています。</p> <p>今後につきましても、異物混入防止対策マニュアルの遵守、業者への指導、調理員などへの研修による啓発を徹底しまして、安全安心の給食実施に努めてまいります。</p> <p>異物混入につきましては以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。それではただいまの説明について、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。</p>

副会長	調理器具が、タワシなどそういう物は今改善されたように聞いているんですけども、そういう器具は老朽化すると木くず・木の破片が入ったりしますので、それは早い目に入れ替えるっていうことをしていただかないといけないんですが、もう一つは調理室の環境が悪いので、調理員さんたちが通常はネットを被って、更にその上から髪の毛を入れこまないといけないルールになっているんですけども、暑いのでそこに隙間ができたり、空気が入るように自分で調整されたりするんですね。そうしますと、髪の毛が入ったりするということもありますので、できるだけ調理服も暑いですから環境を早く整備されていかないと、人間的にも問題が起きるんじゃないかなと思います。ですからそういう異物の混入の前に、環境整備をまずしていただかないといけないのではないかと思います。よろしくお願いたします。
会長	その他、何かございますでしょうか。
会長	本当に調理室から考えれば、だいぶ少ない印象なんですけれど、本当に日々努力をしていただいた結果、どうしても出てしまうものなのかなと思います。大きな事故に繋がらず、例年とそう変わらない程度ということですね。努力していただいている中でのことですね。
委員	令和3年度の事例なので、今回の報告には挙がっておらず、話は違うかもしれませんが、松本さんは直接聞いておられるかなと思うのですが。
委員	今年度北部の中学校でパン粉に異物が混入されていた件で、その日の主食であるトンカツが食べれなかったということがあったと伺っております。そういうことは中々ないとは思いますが、その日は子どもたちは主食なしで過ごしたという話は聞いています。たまたま北部なので別の食材も調達が難しかったと聞いています。給食課の皆さんが色々ご尽力いただいたという話も伺ったんですけど、こういったことがあったそうなのですが。
副会長	具体的にはどういったことでしょうか。
事務局	パン粉を一つ一つお肉にまぶして揚げていくわけですけども、パン粉の袋を一つずつ広げて「これは大丈夫」と確認してからパン粉をつけて、更に次の袋を開いて「これも大丈夫」とやればよかったのですが、多くのパン粉を大量に出してしまっていて、最後のほうに虫の混入に気付いたので、いつ混入したのかがわからないと。最初から虫がいたら最初の方はダメだし、後ろのほうでなっていたら前のほうは大丈夫という判断がついたのですが、そこの作業が不足していたということがあったために、全てが提供できないということが起きました。それが分かったのが作業の最後のほうでしたので、なんとか学校のほうでも給食の開始時間を遅らせてでもできませんかと、ご相談させていただいたのですが、北部ということもあって、今から来てもらってもダメだということで、断念するしかなかったところなんです。今後は作業の際に一袋ずつなど、ある程度少ない段階で異物がないことを確認し、作業を進めて頂くような形で、給食室の方には改めて、今回の場合は抜け落ちてしまっていたところがあったようですので、作業の徹底をお願いしているところです。
副会長	主菜がなかったということですね。
事務局	さすがに我々としても何とかかき集めてでもならないとか、ちょっとでも大丈夫なも

	<p>のがあれば、それを半分にしても、残りをかき集めたもので何とかならないのかと学校に相談させていただいたのですが、どれもダメだということになってしまいましたので、場所も悪かったということもあって、手当ができませんでした。こちらとしてもかなり残念な事案ではあります。</p>
副会長 事務局	<p>中々そういうケース少ないですよ。</p> <p>何とか、ここまでは使えるけど後の方がダメだからということで、持っていったものと足せば何とかあったとか、半分に切って何とか手当できたとか、色々今までの事例ですと対応いただいていたのですが、今回は何もできなかった、珍しいケースではあると思います。</p>
会長	<p>その場合、子どもたちはお腹を空かせているということですよ。午後からの授業も大変だったのでは。</p>
事務局	<p>かなり大変だったのではないかとはいえませんが、ちょうど保護者の方からご意見をいただく場面がありまして、特に子供たちもこういうことがあったけれど、死にそうだったとか、そういった声を保護者の方からいただいているはいません。当然、主食がなかったわけですが、子供たちも大きな不満や不調なく終わってしまったので、今後二度とないように、考えていくしかないと思っています。本当に残念な事案ではありました。</p>
副会長	<p>そうですね。トンカツですよ。楽しみにしていたのでは。大人でも楽しみですから、子どもはもっと楽しみにされていたのが、全員ですからね。思い出になるかもしれないですけどね。大人になっても覚えているかもしれないですけども。そういう時の冷凍の野菜はないんですか？冷凍物を保存されてはいないんですか。</p>
事務局	<p>そういうものはありません。用意はしておりません。あくまで調理現場で作っていたくというところになっております。</p>
副会長 事務局	<p>ここではそうなんですね。</p> <p>今後はそういった形で何かの時に対応できる物を考えておまして、例えばなにかレトルトを学校に配置しておいて、いざという時にそういった物を使えるように検討をさせていただいております。</p>
副会長	<p>そうですね。緊急事態もありますので、どこかにそういうストックがあつて、温めたらすぐ主菜になるというのも一つの道かなと思います。</p>
事務局	<p>はい。そういったところも今検討しているところです。</p>
副会長 委員	<p>お願いいたします。</p> <p>話の続きですが、備蓄品を食べるか食べないかという話が出た中で、500人くらいの中学校でしたのでしょうか。それを今からお湯を温めて出して、それも時間が間に合わないというところで、その学校の保護者から出た話では、トンカツがなかったことに関しては、皆さん温かく、保護者もクレームなく、だったんですけども、それよりも備蓄品がいざという時に使えないことの方が問題なのかなというふうには言っていました。</p>
事務局	<p>実際に各学校に備蓄品があるのは防災上のものでして、我々が検討しておりますのは、それ以外に大雨や警報が出る時があるのですが、警報が止まって子供たちが登校することがあります。そういった時に、朝の時点で警報が出ていると食材の調達が止まってしまう</p>

	<p>ますので、子供たちが登校していても給食が提供できない場面がありますが、その際にレトルト食品などを各学校に配備していますと短時間に対応できますので、9時の時に警報が解除になって子供たちが登校した時には、対応が可能になると思っております。そういった対応を今後進めていこうと思っております。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>備蓄されている物は学校給食の管轄なんですか？</p>
	<p>備蓄品は防災の方が置いております。我々が置こうとしている物は本市のルールによって、子供たちが登校していても給食を提供できない場面が起こりうるもので、その時に対応できるようにということで、31年度頃から別の場所にレトルトのカレーをストックしております。もし夏場に使用しなかった場合、冬場に通常の学校で作っていただくカレーと差し替えてレトルトを提供しております。別の倉庫に置いてありますので遠いところでスペースがあるのであれば、学校に置いておいていただければ柔軟に対応することも可能になるかなと思っておりますので、検討をさせていただいております。</p>
<p>副会長 事務局</p>	<p>以前の会議で備蓄のお話があって、カレーライスのお話も出ていて、賞味期限前に給食として提供するとお話をされていたので、先ほどのお話ではレトルトや温めてすぐに食べれるものがなかったんだなと思ったんですけど、学校には置いてらっしゃらないんですね。別の場所に置いてらっしゃるんですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうです。全校分をまとめて置いてまして、それ自身を台風が来そうな時に備えて事前に配備することはやっていますが、急遽対応しようと思うと配送が間に合わないことがありますので、各学校で置いていただける所があれば、柔軟にできることにはなってきますので、今後考えていく必要があるということで検討しているところです。</p>
<p>副会長 事務局</p>	<p>ストックするスペースの問題もあるんですけども、やはり西宮は気候がすごくいいところなので。この間、学校給食の関係で全国のお話に行った際に、北海道などは吹雪などが頻繁にあるので、材料を調達する車そのものが来ない、行けない事態が多々あるので、小学校や中学校でも冷凍物をストックされているんですね。食材が来ない場合はそれを解凍してすぐ給食を提供できるような準備はされているんですけど、西宮は気候がいいので、しかも結構地域が狭いのですので車で運べば1時間あたりで移送できますし、今後は離れたところはお考えになった方がいいですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうですね。こういった形でいけるかを検討しているところでして、各学校のご意見も聞かないといけないと考えているところです。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、議題（3）その他ウ「令和2年度学校給食事業場における公務災害事故発生状況」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>学校給食事業場における公務災害事故発生状況について説明させていただきます。資料6を御覧ください。令和2年度に発生した公務災害事故発生状況についてお示ししております。合計発生件数は17件となっております。平成31年度が19件であったため微減の状況です。事故の内容別に見ますと、いずれの年度も切創が最も多くなっております。</p> <p>令和2年度に発生した主な事故の状況を記載しております。切創事故としましては、やはり包丁を使った作業の際に発生しており、キャベツ・サツマイモ・ジャガイモを切る際にも事故が発生しています。また、大量調理を行うために使用する器具のスライサーの刃</p>

	<p>の片付けの際にも事故が起きています。切創事故の件数を減らすことが、公務災害を減らす大きな要因となりますので、保護手袋を試験的に活用するなど対策を進めております。</p> <p>熱傷については、給食室では大型の回転釜を使用して調理をしていることから、釜での作業の際に事故が発生しております。その他としまして、打撲や捻挫、骨折、眼外傷等の事故も発生しております。</p> <p>公務災害事故につきましては、月に1回開催する学校給食事業場安全衛生委員会において、事故状況の検討を行っております。この安全衛生委員会につきましては、総括安全衛生管理者の教育委員会参与、安全管理者の学校給食課長、衛生管理者の学校給食課栄養士、産業医、委員として学校管理課長、チーフ調理員2名、会計年度任用職員の調理員2名の計9名で組織しております。なお、学校給食課職員も事務局として参加し、委員会で出た意見の調査や、原因と考えられる施設の不備等があれば対応を行っております。</p> <p>また、安全衛生委員会では、公務災害事故状況の検討に加えて、労安ニュース「安全と衛生」の発行や、年に2校の給食室視察を実施し、また、啓発スローガン、ヒヤリハット報告の募集、夏の研修会での発表等様々な事故防止のための活動を行っております。今年度から公務災害の再発を防ぐため、リスクアセスメントという手法を導入し、公務災害が発生した調理場のチーフ調理員に対応策を記入していただき、安全衛生委員会内で協議を行っております。</p> <p>今後も事故防止に向けて、啓発活動を行ってまいります。学校給食事業場における公務災害事故発生状況については以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それではただいまの説明について、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。</p>
副会長	<p>この17件はバラバラの学校でしょうか、それとも特定の学校に集中しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>特定の学校に集中しているということはありません。バラバラの学校で事故が起きている状況です。</p>
副会長	<p>事故が全くない調理場と事故が比較的度々あるとした場合に、施設の問題とか床の問題など、調理員さんの不手際ではなく物理的な問題の改善も必要ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>そういった面でカバーできることもあると考えてはおりますが、労働安全衛生委員会の中で調理員の方から実際にこういった内容を紹介したところ、経験の浅い人が事故に遭っているといったことが意見として言われています。1年目・2年目といった方が特に切創の部分での事故を起こされている傾向があるようですので、今年度は保護手袋を紹介させていただいて、学校では、慌てず、注意してやるように周りから声掛けしていただき、少しでも切創や経験不足からなる事故については、補っていただけることを進めていきたいと考えております。老朽化して今はドライシステムの給食室を増やしていこうという中で、ウェットシステムであっても少しでも床を濡らさないような作業をお願いしているところですので、20数年前にあったような、濡れた床で滑りやすくなっているところについては、多少軽減はされているのではないかなと考えております。施設面で機器が入れば少しでも切創の機会が減るものについては、そちらを優先して進めていきたいと思っております。</p>

<p>委員 事務局</p>	<p>両方の手に手袋をつけて包丁を持って切るんですよね。 製品としては両手ありますが、やりにくいとの声もあり、食材を押さえている方の手にしてもらおうほうが、やり易いのではないかと意見をいただいております。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>家庭で使っている包丁ではなく、大きいとかそういったことがあって、新しい人は慣れないところで切るということですかね。 大量の物を切らないといけないというところと、時間内に仕上げてしまわないといけないというプレッシャーがあります。ご家庭で調理されているような方、ご自身が料理好きでといった方が給食の調理員になっていただいている方も多いと思いますが、さすがに普段家庭で使っている食材以上の物が調理台に積み重なっているような状態ですので、それを短時間でやらないといけないところについては、焦ったり急がれたりというところで、手元が狂ってしまったり、思ったより食材が滑ったりなどあるようです。そういったところでは経験値が上がれば上がるほど危ない食材に対して危険信号みたいなものがあり、それが働く・働かないということが、新しい方や、経験の浅い方とベテランとの違いになっているようです。経験の浅い方に対しては、こういう機械があれば「切るかもしれないから持っておき。」と声掛けをする委員の方もおられました。ただ使いにくいという声もありますので、今後もいい製品があれば各学校で紹介していきたいと思っています。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>2番や10番の事故など「包丁が滑って」とあるので、素手ではないのかなと思って。 押さえている時に食材自身が滑りやすいものであったり、特に硬いカボチャなどを切ったりするとき力をぐっと入れる中で手元が滑って、ということを知っています。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>私も仕事柄、包丁を使ったりするときがあるので。でも意外と長い年数働いている私の方が切ることが多いですけれど。新人さんは逆に慎重にいくんですよね。慎重にいくがために時間がかかるというか。慣れている人の方が勢いで切ることの方が多いかなと思うんですけれど。指を切ったり虫の混入を聞いたりしていると、虫って本当に洗っても洗ってもひたすらいるんですよね。前日に仕込んだ材料で綺麗に洗って置いていても、さあ使いましょうという時に「あなたお腹いっぱいでしょ」というくらいそこにいたりするんです。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>「1日よかったね。冷蔵庫でいっぱい食べれたね」みたいな。そんな状態なので、当日の準備で必死に何回も洗っても洗っても見つけきれないものって絶対に出てくると思うんですけれども、普段家庭でお母さんたちが料理をしていたら、虫いたり腐ったり当たり悪かったなっていうのはみんな経験していることなので、あー虫かっていうくらいの話かなと思うんですけれども。指を切るっていうのもついて回るといったら悪いんですが、しょうがないと思いつつ、ちょっとでも事故が減ってくれたらいいなと思います。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>大量調理のところでは、機械に任せられるところは機械に任せて、がいいと思っています。そうすることで包丁を触る機会を少しでも減らしていただけたら、手を切る機会も減ると思いますので、進めていきたいと思っています。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>離職率というか、皆さん過酷な職場なんですけれども、どうでしょうか。皆さん楽しく長く続けられている方が多いのか、それとも結構辞める人が多いんだよとか、前は辞める人があまりいなかったけれど最近はずごくすぐ辞めちゃうんだとか、そういうのは傾向としてありますでしょうか。</p>

事務局	<p>新しく入られて半年までに見切りをつけるというか、向いていないという方が結構いらっしやいます。これは1年経つと割と長くお勤めいただけるんですけども、環境と大量調理ですので自分には向いてる向いてないとか、職場の焦りなどの環境もありますので、そこで辞められる方はいらっしやいます。まれにここの職場では良かったけれど、次の職場では人間関係でとか、やっぱり人間関係というのはついて回りますので割と辞められる方もいらっしやいます。今もそれを無くそうとどういう形が長く勤めていただけるのか、慣れていただくと事故も少なくなるし、手際もよくなるので、できるだけ長く勤めていただけるように努力しているんですけど、一番多いのは半年までに辞められる方というのが割といらっしやいます。</p>
委員	<p>半年で辞められる方はしょうがないと言ってしまえばそれまでですけども、例えば1年に1回それぞれ「どうですか？」とヒアリングをしていただいて、皆さんが気持ちよく調理していただけたらと思っています。</p>
事務局 会長	<p>毎年ヒアリングはさせていただいております、それを踏まえて異動もかけております。これはずっとお話しさせていただいているんですが、調理員さんがヒーローになる日っていうのがあると、すごくやりがいを持って取り組んでいただけたらと思いますし、子どもたちから感謝されるような機会をぜひ学校で作っていただけたらと。やっぱり、働きがいてすごく大事だと思います。ぜひそういう取り組みも益々活発にさせていただけたら。私も料理をするんです。手際がよくなってきたのか最近は何も怪我もなく、これとはまた別に聞いた話では、子どもが学校に出かけるときに、必ず子どもを見送るんですけど「気をつけてね」と一つ声をかけるだけで、事故が減るっていうような話を聞きましたので、毎日「気をつけて気をつけて」とうるさいほど言っているんですけど、お陰で事故もなく生活していますけれど。そういう意味でも先ほど、お声掛けっていうお話でしたけれど、不注意というのは何かの時に気を緩ませてしまうような時に起こることだと思いますから、常に気をつけていただけるようにお互い調理員さん同士で気を付けるようにであるとか、あるいは習慣づけるような取り組みというのが、少しは事故を減らすことにもなるのかなと思います。そういう取り組みをぜひ進めていただいて1人でも1回でも怪我をすることが減ると素晴らしいことだと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。</p> <p>それでは他に事務局の方からありますでしょうか。</p>
事務局 会長	<p>特にございません。</p> <p>はい。それでは予定していた議事はこれで終了になりますけれども、我々の任期中の審議はこれで最後と。次はまた総替えということで、私には次もという話は来ているんですけども。任期は次が最後ということでしたので、あと2年ほどは顔を合わせていただきますけれども、今回で皆さんはいったん終わりでしょうか。</p>
事務局 会長	<p>継続等はさせていただくようなお声掛けをさせていただいています。</p> <p>先生方はもう最後だったりするんですよね。一つの区切りですので、ぜひお一人ずつ学校給食に対して思いをご披露いただけたらと思いますけれど。先生の方から順番にお願いできませんでしょうか。</p>
委員	<p>どうもありがとうございます。給食っていうのは、私が住んでいるのは神戸市なんで</p>

	<p>すけれども、給食がなくなって本当に困りました。神戸市も給食をやろうとしていたんですけども、結局民間に委託しても全然いかない、そういう意味では西宮というのは私の小学校時代も当然ありましたし、本当に色々工夫されてやっていただいているということで、給食がなければ元気にいけないなと思います。細かい色んな事があるんだというのは、現場にいたので知っているんですけども、すごく対応が早くやっていただいているということで、たまたまトンカツは残念だったんですけども、本当に何かあればすぐに対応いただいて、子どもたちのことを考えてやっていただいているということで常々ありがたいなと思っています。ぜひ今後も給食がより良くなるように応援していけたらと思います。ありがとうございました。</p>
委員	<p>西宮に就職してから35年ちょっと経つんですけど、その時から言われていたことは西宮市の給食は美味しいと。周りの市からもよく言われたと思うんですね。神戸市のほうはやっと給食がということで、毎日子どものためにお弁当を作ったりしていましたけれど、西宮の評判というのは落とさないように、これからも頑張ってもらいたいというのが一番の願いです。</p>
副会長	<p>学校給食に関わらせていただいて、かなりこの会議で西宮市の給食に対する考え方も進んで来られて、食物アレルギーに対応されるシステムも早く導入されて、比較的給食に対しては熱心な市だと理解しています。まだまだ給食も大きな課題があって、実施数であるとか西宮市でご飯は自校で炊けないという問題がありまして、そこら辺のところもまだ残念なところもあるんですけど、美味しくて安心安全で、子どもたちの健康と栄養というところにも力をいれていただいて、栄養教諭の食育もぜひ充実したものにしていただきたいと考えておりますので、これからも色々とお話しさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>全く専門は違う水道・下水道と経営学部に所属していますが、その中で水道やってもかなり特異な専門ではあるんですけど、学校給食を専門にしている研究者は誰もいないだろうなという中で、なかなか最初は難しい分野だなと思いつつ、やはり子供が西宮にいますので、ずっと西宮で給食をお世話になっている中で、この十数年給食と関わらせていただく中で、社会の大きな変化っていうものが併せて起こっていて、給食に対して求められるものが更に重要性を増しているのかなと。おそらく間違いなく将来的には格差がどんどん広がっていく。これからもっと貧困世帯というのが増えていく可能性がある中で、子どもたちの健康・命を守る唯一の手段になるかもしれない学校給食を今後もっと認知度を高めて、先ほど申し上げた福祉の一環としても全員が安全安心に子どもたちが楽しく給食を食べられるような将来が訪れるように、私ももう少しですけどぜひ関わらせていただいて、少しでも良くなっていくように、既にいいんですけども、ぜひ協力させていただきたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>今日は会長・副会長・校長先生方、市教委の皆さんから貴重なお話をたくさん聞かせていただきまして、それぞれの学校の保護者の皆さんに少しでも伝えていけたらと思っています。西宮市の給食はすごく美味しく、私も何度か食べさせていただいたと思うんですけど、コロナ禍で給食試食会などが中々開催できないので、保護者としては実際にどん</p>

	<p>なものを子どもが食べているのか、今でも私は食べたものの味がフッと浮かぶくらい西宮の給食ってこんな味だったよなって分かるので、ぜひまたコロナが落ち着きましたら、PTAと学校と手と手を取り合って、給食試食会をやらせていただいているんですけども、またやらせていただけたらなと思います。ありがとうございました。</p>
委員	<p>はっきり覚えてはいないんですが2・3年前に会議に出させてもらっていて、会長が外国に行かれている年だったと思うんです。給食に関しては、うちの子も食わず嫌いが続いていた幼稚園時代、ハンバーグ・コロケのお弁当を交互に持っていった2年間があり、小学校に入ってどうしようかというところだったんですけど、いま6年生になって、なにせ給食が美味しいと言うんです。その分、家で同じものを出しても「これは違う」と。高野の五目煮はこうではないと。同じ材料を使ってやろうと思うんですけど、食べれないと。そういう子どもっていっぱいいると思うんです。それだけ給食って大事なものでありがたいなっていつも感謝しております。感謝しつつその味に近づけるようにどなたか調理員さんに教えてもらおうかなと思ったりもするんですが、中学に入ったら3年間また給食でお世話になると思うんです。少しでも自分が何かお話ができたらいいなと思っております。ありがとうございました。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。</p>
	<p>それでは、そのほか連絡事項など事務局の方からありますでしょうか。</p>
事務局	<p>特にございません。</p>
会長	<p>それではこれもちまして令和3年度第1回西宮市学校給食審議会を終了させていただきます。今日はどうもありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>